

## 【GD-21】ステンレス板への焼付コーティング

無機・有機ナノコンポジット剤である【GD-21】が、  
ステンレス表面に焼付コート可能となりました。

### [ 特 徴 ]

低圧スプレーガン～低温焼付条件（120℃×30分以上）でコートOK  
透明ハードコート特性／耐傷性付与  
無機材料に近い耐熱性／1000℃バーナー処理で不燃  
有機材料のような高弾性／素材への追従性

### [テストデータ]

ステンレス表面へのハードコート（焼付処理）テスト

硬化温度（℃）	時間（分）	【GD-21】
室温	—	0／100
80	30	0／100
	60	0／100
100	30	88／100
	60	100／100
120	30	100／100
	60	100／100

\* J I S K 5 6 0 0 - 5 - 6 付着性（クロスカット法）準拠  
1mm方眼100個、セロテープ剥離テスト、付着目数／100

### [測定条件]

- ① ステンレス板（SUS304BA）
- ② 前処理 イソヘキサンによる脱脂処理
- ③ 【GD-21】を【GD-PA】で1：1に希釈後、低圧スプレーガンでコート。  
（コート量＝20～30g／㎡）
- ④ 上記、各条件で硬化。

記載値は、測定値であり保証値ではありません。

各種物性は実際にご使用になられる素材で事前にご確認下さい。